

『たっち』は、みんなの心が輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

たっち

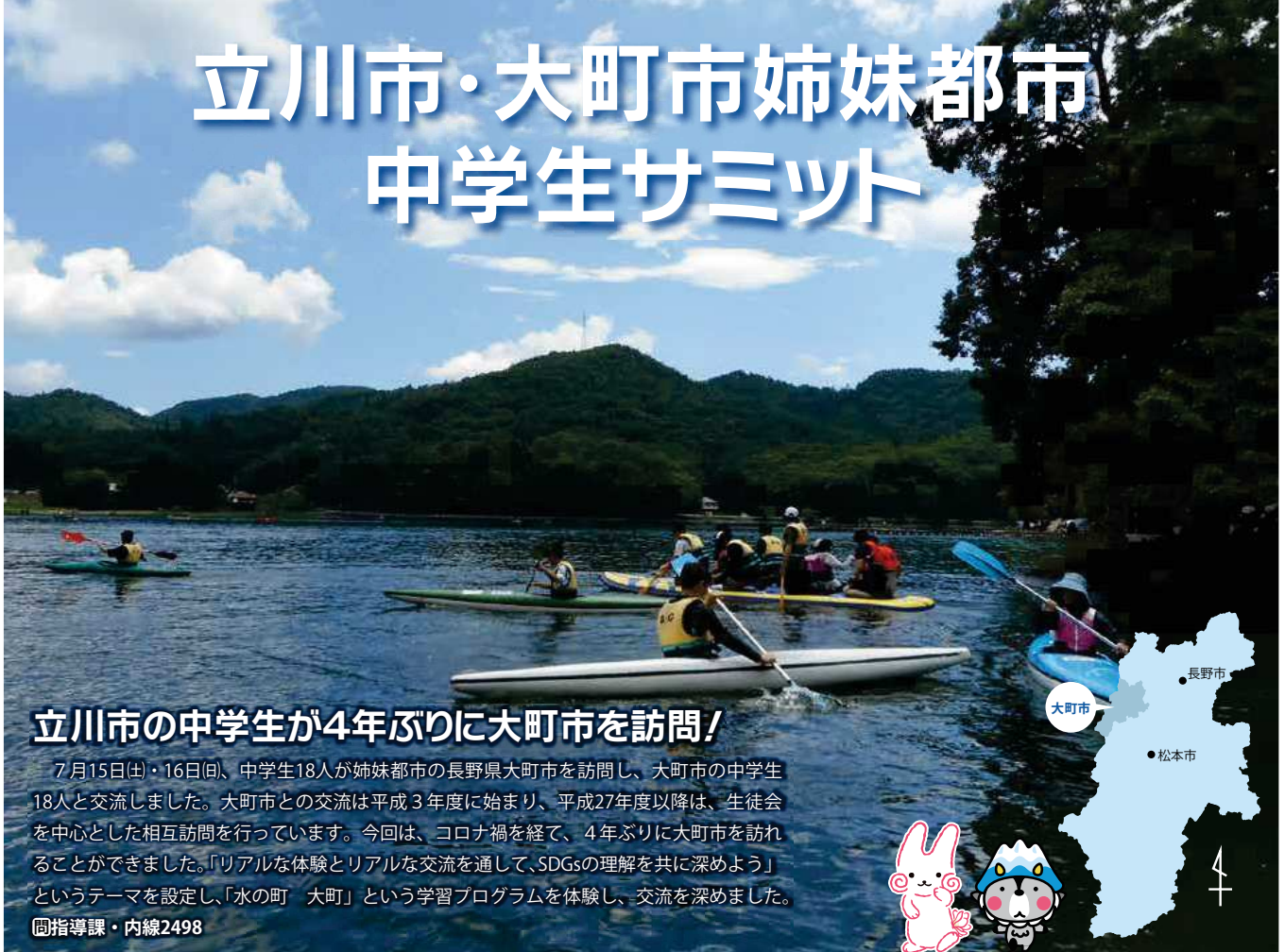
立川市教育だより

- 今号の主な内容
 - 2面 … 立川市中学生平和学習派遣事業において中学生が広島市を訪問／アール・ブリュット立川2023
 - 3面 … 市立小・中学校に電子黒板を整備／令和6年度以降に市立小学校で使用する教科書を採択
 - 4面 … 「特別支援教育講演会」開催のお知らせ／立川市の歴史と文化財
- 編集・発行／立川市教育委員会
〒190-8666 立川市泉町1156-9
☎042(523)2111(市役所代表)
立川市ホームページ
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>



たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和6年2月10日です。

立川市・大町市姉妹都市 中学生サミット



立川市の中学生が4年ぶりに大町市を訪問！

7月15日(土)・16日(日)、中学生18人が姉妹都市の長野県大町市を訪問し、大町市の中学生18人と交流しました。大町市との交流は平成3年度に始まり、平成27年度以降は、生徒会を中心とした相互訪問を行っています。今回は、コロナ禍を経て、4年ぶりに大町市を訪れることができました。「リアルな体験とリアルな交流を通して、SDGsの理解を共に深めよう」というテーマを設定し、「水の町 大町」という学習プログラムを体験し、交流を深めました。

図指導課・内線2498



立川市キャラクターくるりん／大町市キャラクターおまびよん

歓迎ムードの中、大町市に到着！

現地の中学校に着くと、大きな横断幕を持ってたくさんの人たちが出迎えてくれました。温かい歓迎ムードに包まれながら対面式を行い、自己紹介や昼食を通して早速交流が始まりました。「いつもより少し積極的に！」を合言葉に、すすんで言葉を交わし合う姿が見られました。



リアルな体験 リアルな交流

1日目はサントリー天然水の北アルプス信濃の森工場と大町山岳博物館において、大自然と水との関係性や、雄大な北アルプスの麓で暮らす大町の人々の生活について学びました。2日目は、木崎湖でカヤックとSUP(スタンドアップパドル)の体験を行いました。天然水を実際に試飲したり、広大な山々に囲まれながら湖の水を肌で感じたりと、五感をフル活用させた体験ができました。

2日間という日程でしたが、両市の生徒は互いに交流を深めることができました。今後も自然や人と人とのかわりを大切にして、よりよい社会の担い手となる生徒の育成を図ってまいります。